

弘前大学学報



農学生命科学部前 自転車置場

第 46 号
平成20年1月号

学内ニュース

- 平成20年 年頭挨拶 学長 遠藤正彦 ----- 1
- 平成20年度大学入試センター試験実施 ----- 4
- 新外来診療棟での診療を開始 ----- 5

諸会議

----- 6

人 事

- 新任教授紹介 ----- 8
- 人事異動 ----- 8

主要日誌

----- 10

学内規則

----- 11

- 国立大学法人弘前大学給与規程の一部改正

訃 報

----- 12

平成20年 年頭挨拶

平成20年1月4日

弘前大学長 遠藤正彦



新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

昨年大晦日は雪になりまして、新雪とともに新年を迎えました。津軽の正月は雪があった方が落ち着いて良いものと思います。

では、年頭に当たり、学長として平成20年に対する思いを述べたいと思います。

〔中期目標期間終了前評価〕

さて、今年平成20年は、第1期中期目標の期間終了前評価の行われる年であります。この期間終了前評価は、どれほど第1期中期目標・中期計画が完成度高く到達しているか、更に、中期目標・中期計画に記載された以上の業績が挙げられているかが評価の対象となります。

したがって、この期間終了前評価の報告書作成の前に、中期目標・中期計画の完遂に向かって、本学構成員の一致団結した努力と協力をお願い致します。

特に、この期間終了前評価は、部局単位で行われることになっておりますので、各部長は各部局の存続をかけて、部局の目標の達成と部局の特徴化にそれぞれ責任を持って対応することをお願いします。また、一部局の低い評価は、他部局及び大学全体にも事が及ぶことを心して欲しいと願います。

年頭早々、大変緊張した厳しい話ではありますが、それ程までに中期目標の期間終了前評価が緊迫している課題だと言えらると思います。今年はいわば「緊張した年」と言えるかも知れません。

中期目標の期間終了前評価に対する報告書作成の前に、平成19年度事業の実績報告書を作成しなければならず、このために、この3月31日までにどうしても解決しておかなければならない課題が多数あります。それは、教員評価、事務系職員の評価、業務改善と事務の再編であります。それに加えて、附属病院の業務改善であります。

これらは遅れておりましたが昨年後半になって、この問題に対して着実な対応が進んでおりますので、全構成員の一層の御協力をお願い致します。

以下、各領域別の今年の目標等について述べたいと思います。

〔総務〕

只今、中期目標の期間終了前評価に関わる点については申し述べた通りですが、本学にはまだ未解決の問題があります。国立大学法人化当時に作られた本学の規則・規程の見直しが進められています。また、総人件費抑制5年5%の件は、まだ目標達成の推進計画が完全ではありません。また、評価とその活用、及び任期制には手がついておりません。このことについては、年内に全部局で対応が必要であります。

〔財政〕

財政については、依然として厳しい状況が続いています。極力経費節減と配分の集中化を図らなければならないと同時に、文部科学省科学研究費補助金等の外部資金導入には全学を挙げて一層の取り組みが必要であります。

幸い昨年公表された概算要求は、大変好い状況であります。これは教職員の努力が少しずつ評価され報われているからであると信じます。

〔教育〕

国立大学の重要な使命の一つは、教育、すなわち社会に対してすぐれた人材を送り出すことでもあります。国立大学法人化後の大学間の競争の一つはここにある、すぐれた人材を社会に供給することが、大学の評価そのものであります。したがって、本学の存亡は、如何に多くの質の高い学生を社会に送り出すかにかかっています。本学はこの点、教育の目標を、社会に対する“学生の質の保証”に置いております。このため本学は教養教育と専門基礎の教育を重視しておりますが、これを推進する意味で、教員の質の向上“FDの強化”を今年は特に取り上げます。

最近、学生からの訴えの中に、本学教員の授業態度や授業内容に対するものが増えておりますことから、学生自身も本学の教育の質への関心が高まっているものと思えます。

〔研究〕

大学の魅力には、教育の他に大学の研究の成果も取り上げられています。国立大学法人化の前後から、教員としての様々な負担の増加、研究費の不足があつて、研究は停滞気味と思われれます。それを如実に表しているのが、本学の文部科学省科学研究費補助金の低い採択率とG Pの不採択であります。

本学では、機器分析センターが少しずつ充実に向けて着実に進んでおりますし、校舎に関わる研究環境の整備も進んでおります。また、“特定プロジェクト研究センター”に見られるように、研究のプロジェクト体制も進んでおります。後は研究費に問題が残されておりますが、このためにも外部資金の導入に向けて一層の努力が必要と思えます。

〔産学連携・社会連携〕

昨年、地方自治体・企業等との包括協定が多数結ばれました。今年はその包括協定を、事業として如何にプランを作成し、着手し、発展させるかの具体化が課題であります。自治体も企業も大学の動きに期待していますので、今年は今学を挙げて具体化に向けて活動したいと思っています。

〔附属病院〕

附属病院の新築された外来診療棟の供用が開始されます。この新築外来棟の供用に合わせて、これをエポックとし病院の状況を見直し、国立大学法人化された国立大学病院にふさわしい附属病院体制を、早く完成されるよう望みます。

附属病院には、高度救命救急センターの設置を望む地域の声が年々強くなっています。このことは、研修医の確保や地域の中核病院としての使命の上からも重要であります。今年は大きな転機になる年と思われれます。

〔全体として〕

来年、平成21年は第1期中期目標の最終年度であります。同時に弘前大学創立60周年の年にあたります。学内には創立60周年にあわせた記念事業を実施しようとして弘前大学創立60周年記念事業運営委員会が、学外にはこれを応援する弘前大学創立60周年記念事業後援会が設立されています。こうした学内外の気運を、国立大学法人化の完遂と結びつけて60周年記念事業を成功させたいと思いますので、全学一致して御協力をお願いします。

尚、今年には社団法人国立大学協会の総会が、本学をホスト校として、11月にこの弘前市で開催されることになりました。これは、国立大学が国立大学法人化されて、社団法人国立大学協会として発足して以来、秋の総会を東京以外の地方都市で行うとして、金沢、長崎、神戸、新潟と続き、東北地方で初めて開かれるに当たり本学が指名されてものであります。種々の点で、全国の国立大学の関心が本学に注がれていることを心したいと思います。

〔おわりに〕

冒頭で私は、今年には第1期中期目標の期間終了前評価の報告書提出があるので、厳しい緊張した年だと申し上げました。

正に、国立大学法人化して初めての全体的評価であり、それが第2期中期目標に対する資源配分に直接関わってくるものであることは重要であります。

一方、国立大学法人化して大学間の競争が激化してくる中で、少子・高齢化と過疎化が進み、地方財政がひっ迫し、産業基盤の脆弱なこの地域を存立基盤とする本学が、何を旗印とするかといえ、質の高い学生を社会に送り出すための教育と優れた研究に成果を挙げることと、地域に求められる、そして地域に貢献する大学となること以外に道はありません。

第1期中期目標の期間終了前評価の年としては、この教育・研究・地域貢献を如何に具体化するかにかかっています。本年1年、本学教職員は一丸となって、これにとりかかって欲しいと願います。その努力が本学の明るい第2期中期目標の見通しをもたらすものと思います。御協力をお願いします。

平成20年度大学入試センター試験実施

平成20年度大学入学者選抜大学入試センター試験が、1月19日(土)、20日(日)の2日間にわたり全国一斉に実施されました。県内では弘前大学、青森県立保健大学、青森公立大学、青森大学、青森大学田名部高等学校会場、青森中央学院大学、八戸大学、八戸工業大学及び北里大学獣医学部の9試験場で実施されました。

この後、本学の個別学力検査は、前期日程試験が2月25日(月)、26日(火)(合格発表は3月7日(金))、後期日程試験が3月12日(水)(合格発表は3月20日(木))に実施されます。

なお、本学が担当した大学入試センター試験の志願者及び受験者は、次のとおりです。

◇平成20年度大学入試センター試験 教科別受験状況

弘前大学試験場

担当学部：医学研究科、保健学研究科

志願者数：1,436人

	科 目	公 民	地理歴史	国 語	外国語 (筆記)	英語リスニング
1 月 19 日 (土)	受験しなかった者	312	384	78	64	72
	受験した者	1,124	1,052	1,358	1,372	1,364
	受 験 率	78.3%	73.3%	94.6%	95.5%	95.0%

	科 目	理科①	数学①	数学②	理科②	理科③
1 月 20 日 (日)	受験しなかった者	584	106	230	514	882
	受験した者	852	1,330	1,206	922	554
	受 験 率	59.3%	92.6%	84.0%	64.2%	38.6%

新外来診療棟での診療を開始

医学部附属病院では、平成16年度から建設工事を進めてきた新外来診療棟が平成19年9月に竣工し、平成20年1月7日から診療を開始しました。

新外来診療棟は地下2階・地上5階建てで延べ床面積は17,083㎡、1階中央待合いホールは5階までの吹き抜け構造で、明るく開放的なレイアウトになっています。

各診療科の受付は、関連の深い診療科を組み合わせた内科、外科などの総合「ブロック受付」を設け、ディスプレイを使った患者案内システムを採用しています。

地下1階には中央カルテ庫を設け、これまで各診療科別に保管していた外来カルテのうち、約30,000冊を一元管理し、最新のカルテ管理システムにより、必要なカルテの高速検索及び自動取り出しが可能になりました。

新外来診療棟のオープンを前に、診療科及び事務部の移転や「1患者1カルテファイル」方式導入のためのカルテ合冊作業を、外来診療終了後の年末年始の期間に関係業者の協力を得ながら病院職員総出で行いました。1月4日には総合リハーサルを実施、1月7日のオープン初日には、新システムに不慣れな患者様がスムーズな受診ができるように、多数の案内係やシステムのトラブル等への対応者を配置し、1,300人を超える外来患者様への対応にあたりました。

特定機能病院として、「患者本位の診療」をコンセプトに掲げる本院では、今後もより快適な環境で、高度で良質な医療を提供するため、努力を続けます。



カルテ合冊作業の様子



総合リハーサルの様子



オープン初日、多数の患者様が来院



1階中央待合いホール

■ 諸 会 議

▼役員会

1月7日（月）

審議事項

- 1 中期計画の変更の教育研究評議会への付議について
- 2 国立大学法人弘前大学予算配分方針（改正案）の経営評議会への付議について
- 3 平成19年度内部監査結果報告書の取扱いについて

報告事項

- 1 国立大学協会臨時学長懇談会について

その他

1月15日（火）

審議事項

- 1 中期計画の変更について
- 2 国立大学法人弘前大学予算配分方針（改正案）について
- 3 職員給与規定の一部改正について
- 4 国立大学法人弘前大学課長等選考実施要領の制定について

報告事項

その他

1月21日（月）

審議事項

- 1 事務組織の再編・見直しについて
- 2 学内保育園の設置について

報告事項

- 1 次期中期目標・中期計画期間に向けての意見交換について
- 2 大学入試センター試験について

その他

1月28日（月）

審議事項

- 1 弘前大学白神教育研究林（仮称）の設置構想について
- 2 弘前大学インテリジェントビル（仮称）の設置計画について
- 3 サンスターによる寄附講座について

報告事項

- 1 特定プロジェクト教育研究センターについて
- 2 教育有識者懇談会について
- 3 弘前大学歴史的資料調査結果について
- 4 学園町団地内における変質者の出没について

その他

▼教育研究評議会

1月8日（火）

審議事項

- 1 中期計画の変更について

報告事項

- 1 教員の人事について
 - (1) 教員の採用・昇任
- 2 平成20年度総合文化祭の実施日及び休講措置について
- 3 弘前大学特別研究員の再募集について
- 4 委員会報告
 - (1) 21世紀教育センター運営委員会
 - (2) 教育・学生委員会
 - (3) 入学試験委員会
 - (4) 教育職員免許状更新講習実施準備委員会
- 5 その他

▼教育・学生委員会

1月30日（水）

議 題

- 1 学生表彰の選考について
- 2 携帯電話による出欠管理システム試行状況について
- 3 身体に障害がある学生への対応について
- 4 その他

報告事項

- 1 その他

▼21世紀教育センター運営委員会

1月24日（木）

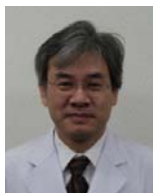
報告事項

- 1 センター長報告
- 2 専門委員会報告
 - (1) 教務専門委員会
 - (2) FD・広報専門委員会
 - (3) 点検・評価専門委員会
- 3 教育・学生委員会報告
- 4 科目主任会報告
- 5 その他の報告

審議事項

- 1 弘前大学21世紀教育科目における「放送大学との単位互換」の単位認定に関する規程の一部改正について
 - 2 平成20年度学外非常勤講師資格審査について
 - 3 平成20年度非常勤講師による授業計画について
 - 4 平成20年度ティーチング・アシスタントによる授業計画について
 - 5 国際交流科目の取扱いについて
 - 6 平成20年度21世紀教育の運営等に係る経費について
 - 7 平成20年度年度計画について
 - 8 次期センター長候補者の推薦について
 - 9 その他
-

新任教授紹介



医学研究科

サイジョウ ヤスオ

西條 康夫(専攻:腫瘍内科)

西條東北大学大学院医学系研究科附属創生応用医学研究センター先進医療開発部門遺伝子医療開発分野教授が、平成20年1月1日付けで本学医学研究科教授に発令されました。

人事異動

[採用]

発令年月日	氏名	異動内容
20. 1. 1	佐々木 俊	事務職員(総・人)
20. 1. 1	高橋 陽介	事務職員(医)
20. 1. 1	西條 康夫	教授(医) [29. 12. 31まで]
20. 1. 1	園木 和典	准教授(農生)
20. 1. 1	大和田 真玄	助教(病院) [24. 12. 31まで]
20. 1. 12	丹代 妃呂美	事務職員(医) [20. 11. 14まで]
20. 1. 16	房 家 琛	助教(農生・生物共生)

[昇任]

発令年月日	氏名	異動内容
20. 1. 1	講師(病院)	杉本 一博 准教授(医)
20. 1. 1	助教(病院)	長畑 守雄 講師(病院)
20. 1. 1	助教(医・高度)	柿崎 育子 准教授(医・高度)

[配置換]

発令年月日	氏名	異動内容
20. 1. 1	助教(医)	島田 美智子 助教(病院) [24. 12. 31まで]

[併任]

発令年月日	氏名	異動内容
20. 1. 1	教授(医)	西條 康夫 医学部附属病院腫瘍内科科長
20. 1. 1	学生生活支援グループ係長(学務・学生)	加藤 勇樹 入試グループ係長(学務・入試)

[休職]

発令年月日	氏名	異動内容
20. 1. 1	助教(医)	武田 仁志 [期間延長] 20. 3. 31まで

[育児休業]

発令年月日		氏名	異動内容
20. 1. 3	教諭 (附中)	沼倉 ことじ	20. 12. 31まで
20. 1. 12	事務職員 (医)	工藤 かおり	20. 11. 14まで

[任用更新]

発令年月日		氏名	異動内容
20. 1. 3	教諭 (附中)	阿部 麗子	[任期付職員] 20. 12. 31まで

[復職]

発令年月日		氏名	異動内容
20. 1. 1	総務グループ主任 (農生)	工藤 理砂子	育児休業より

■ 主要日誌

- 1月7日 役員会
- 8日 教育研究評議会
- 15日 役員会
- 19日 大学入試センター試験（～20日）
- 21日 役員会
- 24日 21世紀教育センター運営委員会
- 28日 役員会
- 30日 教育・学生委員会

■ 学内規則

(平成20年1月15日改正)

○ 国立大学法人弘前大学給与規程

以下の理由によりこの規程の一部を改正した。

- ①「一般職の職員の給与に関する法律」が改正され、国家公務員に準じて本学職員に対する俸給表等を改定するため。
- ②教育学部附属学校園の副校長、副園長及び教頭にかかる俸給の特別調整額を改定するため。

訃報

本学名誉教授 尾山 力 氏には、1月9日（水）午後1時24分御逝去
されました。

享年 84歳

ここに、謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

弘前大学学報第46号

弘前大学総務部総務課
036-8560 弘前市文京町1
電話 (0172) 36-2111